

「教育保育インターンシップ」の成果と課題 (I)

宮川洋子, 門松良子, 赤坂英二, 河合富美子, 原奈津子, 北川歳昭, 古山典子
(就実大学)

The Reflections and Effects of an Internship Program in Nursery Schools, Kindergartens, and Elementary Schools (Part I)

Yoko MIYAKAWA, Ryoko KADOMATSU, Eiji AKASAKA, Fumiko KAWAI,
Natsuko HARA, Toshiaki KITAGAWA and Noriko KOYAMA
(Shujitsu University)

抄 録

教育保育専門職養成学科である初等教育学科の初年次教育として位置づけられた「教育保育インターンシップ」が、実施初年度においてどのような成果をあげたかを事前事後指導および学生によるアンケート調査と事後レポートから明らかにし、次年度以降のインターンシップのあり方を検討する基礎資料とすることを目的とした。その結果、初年次教育としてのインターンシップは学生に自己課題を与え、今後の学習意欲を高める機会になっていることが明らかになった。また、インターンシップの実施方法や事前事後指導のあり方については、今後の課題が明らかになった。

キーワード：教育保育インターンシップ, 初年次教育, 成果, 課題